

「奥豊後」浮揚策～「絆」という夢を乗せた奥豊後バスツアー～

0. はじめに

僕の実家は、奥豊後(注1)の片田舎。様々な観光資源があるとは言え、入込み客は殆どない。福岡市や韓国、中国からの観光客は、せいぜい別府、湯布院などの温泉地、阿蘇・九住(九重)など山並みハイウェイ(九州横断道路)どまり。奥豊後まで足を伸ばされる方は少ない。

注1:奥豊後とは、豊後大野市、竹田市を中心とした大分県南西部の中山間部を指す。

奥豊後に限らず地方は、人も物も全て都市へ流出し、過疎化が著しい。今後は、都市化、グローバル化する時代の潮流の中で、如何にして人や物、そしてお金の“逆流”を生むか。地域通貨と云った防衛策も考えられるが、人口や経済の絶対量そのものが縮小している。やはり都市(及び中国韓国)との交流を通じて都市(及び中国韓国)から地方へ、如何に工夫を凝らし人やお金の流れを生み出すかがポイントだと思う。今は、補助金、交付金でかろうじて国(又は都市)に支えられているが、これはもう無理。地域経済の自立こそが不可欠と考える。

例えば、公共交通の存続問題。奥豊後にも小さなバス会社があるが、乗客は減り、経営は厳しい。かろうじて公的支援で維持している可能性がある。交通弱者にとって無くてはならない唯一の交通手段ではあるが、このような福祉的な維持運営ではもはや限界、長続きしない。未永く維持運営していくためには、新たな視点で「新たな需要」を喚起し創出することが必要と思われる。

そこで、打開策の一案としてバスツアー企画を提案したい。ターゲットは、増加しつつある圏域内の年金受給者、都市と農村の交流促進、そして山並みハイウェイ(九州横断道路)を超えてくる観光客の受入れ拡大。この3つを対象としたバスツアーを企画しバス会社の再生を図りたい。

その際、単なる新規需要創出(乗客増加策)のみでは、限界を感じる。特に地方では、他の地域産業、地場企業、そして人や活動を含めた地域経済全体のポテンシャルを高めていくことが、バス会社の再生には不可欠と思われる。そのため、本企画提案に当たっては、次の2点を重視したい。

地場企業の存在意義と絆の見直し

3.11未曾有の大震災に遭遇し、東北の人々がみせた振舞いは、企業、行政、各種団体など組織の違いを超え、損得をも超越し、力の限りを尽くして助けあう姿であり、我々に絆の大切さを痛感、呼び覚ますものであった。

比喩として取り上げることは不適切かも知れないが、全国の中山間地域は今、都市化、グローバル化という「大津波」に遭遇し、瀕死の状況にあるが、絆、共助そして夢を語ることで、はじめて希望、未来がみえてくる。地場企業も、瀕死の状況にある地域社会に対して何を、どういったサービスを提供すれば良いかを、常識にとらわれず問い直す。そこに新たな存在意義・可能性が見え、元気で明るい地域社会を築けるのではあるまいか、そういったことを被災地の人々に学んだような気がする。バス会社及び中山間地域の再生も、このような視点で考えてみたい。

各種まちづくり活動団体との連携と支援

「過疎から適疎へ」を提唱したのは、前平松大分県知事。地方の元気は、人口の数ではない、個々の質。県民一人一人が元気で活動量が多ければ地域は元気、大分県は元気になる。そのために、まちづくり塾(活動団体)の結成や育成に精力的であった。その成果かどうかは定かでないが、奥豊後にも様々な活動団体があり、これら熱意ある人々の様々な活動が地域の活力となっていることは疑いの余地がない。しかし、大半がボランティア活動で、永続的にモチベーションを維持することの難しさを、よくリーダーの方々から聞く。そこでバスツアー企画で、各種まちづくり団体をつなぎ、モチベーションの維持に少しでも貢献できないか、その視点を重視して考えてみたい。

提案 「絆」という夢を乗せた奥豊後バスツアー

1. 圏域内の年金受給者を対象とした「郷土学習・物語発掘バスツアー」

私もその一人であるが、地域の歴史が知りたい。地域のことももっともっと知りたいと言う願望がある。これらを背景に、エコミュージアム構想が九州各地で提起され、「文化遺産登録」への働きかけも盛ん。奥豊後においても、世界遺産とは言わなくても「九州遺産」、「奥豊後遺産」といったことは十分想定される。しかし、それを支える活動や仕組みがないと持続しない。

そこで、奥豊後の地域資源、特に歴史遺産を発掘し、各地に伝わる伝説などを題材に、物語として互いに語り、所縁の地を訪ね歩くバスツアーを企画し実施したい。

(その1) 真名野長者伝説を訪ねるバスツアー 起点終点は臼杵石仏、内山観音

大分県は「仏の国」と言われ、全国磨崖物の8割を占め、その集積地の一つが奥豊後。その代表例は国宝・臼杵石仏。しかし、何故これら磨崖物が奥豊後に多いのか、今一不明で謎に包まれている。諸説あるうちの一つに、豊後大野市三重町の内山観音に伝わる炭焼小五郎真名野長者伝説(内容は省略)があり、臼杵の石仏は真名野長者が建立したという。これまで、長いこと架空の伝説と捉えられていたが、真名野長者は歴史上の実在人物であったという説が浮上している。そこで、炭焼長者伝説を物語として、所縁の地をバスツアーし郷土の歴史を学び考える企画。生涯学習(既に実施されている街歩き、歴史探索等々)の延長線で、ここに「ふれあいサロン(豊後大野市の福祉事業。週一回開催の高齢者交流サロン、食事会・おしゃべり会的なもの)」を加味する。

いずれにせよ奥豊後には伝説や物語の類が多い。平家物語に登場する豊後武士の雄・緒方三郎惟栄(これよし)の誕生秘話である大蛇伝説がある。更に、国東半島一帯の六郷萬山を開いたとされる任聞菩薩伝説と対で語られる日羅菩薩伝説等があり、いずれも奥豊後の歴史の一片を彷彿させる。郷土史家を中心とする研究グループも多いし、これを観光に活かそうと取り組んでいる活動グループもある。

こういった研究、活動グループと協力して、まずは真名野長者伝説を訪ね歩くバスツアーを企画し実施したい。起終点は、臼杵石仏、内山観音。その間のルートや探索地は郷土史家の先生らと協議し教えを請いながら決めていく。

(その2) 白水ダム建設物語バスツアー 起点終点は原尻の滝と白水ダム

近世・近代の歴史遺産も多い。奥豊後には石橋、井路、堰など石の文化があり、代表例の一つが「白水ダム」と富士緒井路。そこには、明治～大正、昭和初期の「水との格闘史」がある。これも白水ダム建設物語としてバスツアーを企画し、実施する。自然と調和したこれらの地域資源を見て廻るのは楽しいし、昔を見つめ直すのは郷土愛を醸成し将来にも通じる。竹田市や緒方町には研究者も多いようだし、他の石橋や井路とも、どこかで繋がっているはず。

このバスツアーの起終点は、白水ダムと原尻の滝(道の駅)。バスツアーには郷土史家の先生に同乗していただき、ガイド役をお願いする。ガイド代3～50000円/日を想定。参加者の募集は、ネットによる一般募集と各種団体への働き掛け(営業)で行い、料金設定は昼食(郷土料理)付きで4500円/人を想定。ルート、探索地の選定は、郷土史家の先生方に教えを請い決めていけばよいが、各地の老人会や各種文化教室などに意向把握を行い、モデルルートを複数案用意したい。その際、路線バスとの連携も視野に入れたい。



日本一美しいと言われる「白水ダム」

これらの企画案の狙い

(一次的な狙い)

高齢者や子ども達を対象とした生涯学習、生きがい醸成

そのツアーを支える郷土史家などガイドする人材の養成(研究活動を支えるモチベーションと経費の捻出)

物産館・道の駅などを通じた地産地消、地域の食文化の醸成

(二次的な狙い)

環境保護、地域資源の保全と修景

バスツアーから広がる可能性のある他地域との交流促進

2. 都市住民との交流を狙いとする「田舎暮らし体験交流バスツアー」

生涯学習・物語発掘ツアーと同時併行で、都市住民との交流促進を積極的に図る。そのために「田舎暮らし体験交流バスツアー」を企画し、実施する。

大分県では安心院のグリーントーリズム(農家宿泊)、佐伯市のシーツーリズム(漁村宿泊)、福岡県では星野村の棚田保全活動体験ツアーなどがある。この種の田舎暮らし体験ツアーは全国各地で確実に広がりを見せているが、必ずしも成功例ばかりではない。問題点の一つが活動グループの負担。準備で忙殺される割に実入りが少ない。そういった中で、安心院はブドウ、佐伯は寿司、星野村はお茶といった特産品開発などである程度の経済効果が見られるようだ。やはり単なる農泊、交流のみでは限界であり、ボランティア活動では広がらないし、長続きしない。観光交流といったある種の経済効果、経済活動へと発展させる必要がある。しかし、この種の都市と地方の交流は、心と心のふれあい、絆、安心・信頼といったものが大切で、経済活動が前面に出ると交流ツアーそのものが危ぶまれる。

そこに、バス会社が参画する意味がある。需要喚起(乗客増)と金銭感覚(採算)のほど良いバランスをもって実施したい。

潜在的には都市との交流を希望する数多くの活動グループがあると思うが、まずは、豊後大野市緒方町を対象(注2)に、試行錯誤を重ね、体験交流のモデルを構築していきたい。

注2:緒方町を選定する理由は、後述3を参照

(その1例) 田園風景の美しい緒方町のリバーツーリズム

緒方町には、祖母山・傾山を背景とした雄大な田園があり、清流、水路がある。原尻の滝や水車等々の魅力的な地域資源も多い。チューリップ祭りや食の特産品化等々のまちづくり活動もみられ、熱心な活動家が多い。北海道の富良野を彷彿させるが、比較すると個々の特色はまだ弱い。原尻の滝が広く知られるようになっている今、更に地域資源の発掘や魅力アップを図り、観光交流のポテンシャルを高めていく。まずは、「田舎暮らし体験交流バスツアー」を通じて都市との交流を促進し、その芽を広げる。前述の「白水ダム建設物語バスツアー」や「緒方三郎惟栄物語探索ツアー」との抱き合わせ・ジョイント案も可能である。

バス会社が、緒方町内及びその近傍にある活動グループと協議し、体験交流バスツアーを企画立案し、参加者募集などの準備を行う。地域の活動グループは、地域住民と協力して体験交流をサポートする。サポート代、宿泊代は当然還元されるし、心温まるおもてなしで緒方町ファンを増やし、特産品等々の顧客増を図ることも可能。奥豊後の高齢者の中には、Uターン、Jターン組も多い。全国主要都市に数多くの知人・友人がいる。彼らを通じて古巣の企業や住宅団地、自治会、各種団体との繋がりを構築し、これらをフル活用し、参加者募集を働きかけていく。



緒方町原尻の滝周辺

この企画案の狙い

(一次的な狙い)

地域活動グループの活動支援

(二次的な狙い)

特産品開発、観光振興など地域経済の活性化

奥豊後で考え得る特産品開発は、カボス、シイタケ、鹿、猪、アユ、ヤマメなど ポン酢、ジュース、燻製、うるか等々

3. 圏域外の「観光交流拠点」と連携したバスツアー企画

前述1、2の企画提案をベースに更に発展させたい。奥豊後全体の浮揚策を考慮すると、湯布院や阿蘇久住など山並みハイウェイ沿いから観光客を誘引したい。そのためには圏域内に2つ、3つのメジャーな観光交流拠点が欲しい。ここを核に幾つかの回遊ルート(バスツアーコース)が生まれる。そういったことが理想である。

さらに広域で考えれば、奥豊後に隣接し臼杵、佐伯及び延岡、日向などがある。これら九州東部地域は、九州で最も秘境とみなされているが、海運が中心であった中世・近世までは中九州の玄関口であった。今や、人の流れでみれば阿蘇や久住の方が前線で表。それだけ、奥豊後の活路は臼杵、佐伯によるところも大きいと言えるが、折しも東九州自動車道、中九州自動車道(大分 熊本)、御船(熊本) - 延岡(宮崎)線の整備が進んでおり、今後、大きな変化が生まれる可能性もある。しかもこれら地域には観光資源も多いだけに各種の企画を組んでもらい、奥豊後もこれを支援していく。こういった取組みが、行政を巻き込んで展開されるべきであろう。

したがって、将来的には、全国主要都市及び韓国・中国のバス会社や旅行代理店を巻き込むことも視野に入れたい。そのための準備を、以下のような企画で育みつつ、まずは周辺の観光拠点との連携で奥豊後の拠点づくりを進めたい。

(その1) 竹田市の歴史観光拠点形成に資するバスツアー

竹田市は、岡城や歴史的街並みなどメジャー級の観光資源が多い割には、今一観光客などの来街者が少ない。広域合併したことで、久住の高原、直入の温泉などと上手く連携し、工夫すればもっと増やせるはず。そこで、阿蘇、久住の温泉宿泊と抱き合わせの観光ツアーを福岡市などのバス会社、旅行代理店と協働で企画し、主要地点までは大手バス会社に任せ、奥豊後内は幾つかのオプションを設けて地元のバス会社がサービスする。そういった現メジャー級観光地とのコラボレーションを、都市部(大手バス会社)と地方(中小バス会社)の連携によるバスツアー企画として組み、観光入り込み客・奥豊後ファンを徐々に増やしていく。これは、1泊2日コース、15000円程度で企画する。

(その2) 緒方町原尻の滝を核とした田園観光拠点形成に資するバスツアー

緒方町も、メジャー化しようと夢見る。パン職人などが都会から移住してきている。湯布院や黒川の温泉保養地とは趣の異なる魅力的な田園地帯がある。湯布院、黒川の観光協会などとタイアップし、湯布院・黒川温泉で一泊、緒方町で農泊などをミックスした観光ツアーを企画する。2泊3日で2～30000円の企画となる。こういった企画を都市部のバス会社、企業と協力して組み、その中で、奥豊後の良さをアピールしていく。そういった連携の中で緒方町の新鮮な農産物が湯布院や黒川の温泉旅館の方にも利用していただけるようになるかも知れないし、湯布院・黒川の温泉旅館には、新たな展開・新たな顧客をもたらす可能性がある。



原尻の滝

臼杵、佐伯及び延岡、日向などとも、同様な方法で連携を模索し、東九州全体のポテンシャルを高める。

そして、これらが奥豊後及び東九州の観光交流拠点となり、奥豊後全体の浮揚策がみえてくる。

謎に包まれた秘境の地「奥豊後」は、こうした企画を考え、実践を繰り返すことで地域間、活動グループ間の絆を強め、都市部との連携を高めていく。経済効果は、そう簡単に好転しないかもしれないが、こういった試みがモデルとなり、新たな活動が出てくれば、きっと奥豊後は元気と言われるようになる。(了)

平成 23 年 10 月 14 日